

# データ活用による菰野町MaaS「おでかけこもの」機能高度化事業

～公共交通で気軽におでかけしたくなるまちを目指して～

AIオンデマンド乗合交通（以下、のりあいタクシー）利用者数：月平均1,500人を超える「おでかけこもの」の利用データ分析や、利用者からの改善要望に基づき、公共交通の最適な運行の検討や誰でも使いやすい「おでかけこもの」の利便性向上を図り、「公共交通で気軽におでかけしたくなるまち」の実現を目指す。

協議会の 構成員	菰野町【幹事】、近畿日本鉄道(株)、三重交通(株)、(有)尾高、御在所ロープウェイ(株)、国土交通省中部運輸局三重運輸支局、三重県地域・交通部交通政策課、名古屋大学大学院環境学研究所 【オブザーバー】菰野町観光協会、NTTコミュニケーションズ(株)東海支社	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動ニーズに応じた公共交通の整備（移動実態の把握不足）</li> <li>● 高齢者へのおでかけ支援</li> <li>● バス利用促進（のりあいタクシーとの乗継促進、定期券デジタル化）</li> <li>● 来訪者への公共交通に関する情報提供・移動手段確保</li> <li>● 行政と町民や交通事業者との連携による公共交通の維持</li> </ul>	
事業 概要	サービス 開始時期	令和6年12月実証実験実施 令和7年3月運用開始
	事業エリア	菰野町全エリア
	MaaS システム	菰野町地域公共交通会議とNTTコミュニケーションズ(株)東海支社が共同開発
	交通 サービス	<b>【提供予定のサービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● データ活用による公共交通の運行改善</li> <li>● 利用者の属性に応じた公共交通情報の提供</li> <li>● バス定期券・フリー乗車券デジタルチケットの販売</li> </ul> <b>【提供済サービス（抜粋）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● のりあいタクシーを含めた複合経路検索</li> <li>● のりあいタクシーの検索、予約、事前決済（d払い）</li> <li>● 主要なのりばに最適化された運行情報の提供</li> <li>● 観光用eモビリティの貸出予約</li> </ul>
交通以外 のサービス	<b>【提供予定のサービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光デジタルチケットの企画・検討</li> <li>● 高齢者や学生向けのスマホ教室</li> </ul> <b>【提供済サービス】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町内のイベント情報発信機能</li> </ul>	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データ活用による移動ニーズに応じた公共交通の運行改善</li> <li>● 「おでかけこもの」利便性向上による高齢者のおでかけ支援</li> <li>● おトクで便利なデジタルチケットを通じた、町内の周遊性向上</li> <li>● 行政と町民の連携による公共交通の維持（公共交通への利用転換）</li> </ul>	

事業イメージ	
MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ	
<p>【施策1】データ分析に基づく移動実態の把握による公共交通の運行改善</p> <p>【施策2】よく使う人も初めての人もより便利な「おでかけこもの」の実現</p> <p>【施策3】おトクで便利なデジタルチケットによる町内の周遊性向上</p> <p>【施策4】スマホ教室による利用周知と使用感をヒアリング</p> <p>公共交通で気軽におでかけしたくなるまち</p>	
評価指標	
<p>評価指標、目標、測定方法などを記載</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● コミバス等の見直し検討に活用するための収集データ件数 : 2件</li> <li>● 「おでかけこもの」TOPへのWebアクセス数 : 3,400件/月</li> <li>● コミバスのフリー乗車券のデジタルチケットの購入数 : 5枚/年</li> <li>● のりあいタクシー月間利用者数 : 1,760人</li> <li>● コミュニティバス月間利用者数 : 3,870人</li> <li>● のりあいタクシーの長距離利用者数割合の減少率 : 210人</li> <li>● 「おでかけこもの」経由での観光デジタルチケット購入アプリへのアクセス数 : 10回/年</li> <li>● 観光デジタルチケットの購入数 : 5枚/年</li> </ul>	
今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 継続的に機能追加・改善を行い、町内の「公共交通で気軽におでかけしたくなるまち」の実現や近隣自治体と連携したMaaSシステムの共同利用を目指す。</li> <li>● データ連携基盤（都市OS）の構築を目指して、データ活用の第一ステップとして「おでかけこもの」を位置づける。</li> </ul>	